

心に残ったお話

修学旅行で行った草の家では、昨年は「ビキニ被爆」、今年私たちは「高知大空襲」でした。岡村さんは、戦争のことを思い出したくないと思うけれど、私たちのために戦争の恐ろしさと無意味さを教えてくれました。爆弾によって家族が亡くなり、かわいそうでした。話を聞きながらお母さんやお父さんが亡くなったなら…と考えるととても悲しくなりました。毎日のようにアメリカのB29が飛んできて、夜でも昼のように明るかったそうです。毎日怖い思いをしていました。今の私たちと比べてもみました。戦争のない平和な暮らしに安心しました。



岡村さんは話をしているときつらかったと思います。だから一生懸命想像しながら聞きました。話してくれたことをしっかりと覚えておきたいと思いました。戦争につながることとはしたくないし絶対いけないと思いました。

(田ノ口小学校 6年 藤原 鈴夏)

風にひらひら...

4年生みんなで「Tシャツアート展」に行きました。ぼくたちは1学期に、砂浜美術館の塩崎さんにきていただき、思い思いにTシャツのデザインを描きました。それから、5カ月。どんなTシャツに仕上がっているか楽しみでした。砂浜に着くと、たくさんさんのTシャツが砂浜いっぱい広がっていました。そこで、塩崎さんがTシャツアート展について説明してくれました。全国から903点集まったそうです。そして、多くのTシャツがなんと2位に選ばれたことを教えてくれました。その瞬間、ぼくは自分の耳をうたがいました。でも、周りのみんなが拍手をしてくれたので、ほんとうなんだと思ってくれくなりました。その後、自分達のTシャツがある所に行って、記念写真を撮りました。他にもたくさんさんのTシャツが飾られていて、まるで洗濯物のように風に吹かれてひらひらしていたのがとてもきれいでした。

来年のTシャツアート展にも参加したいです。



(南郷小学校 4年 宮尾 誓太)

1年間生徒会活動をやってみて

11月1日に退任式があり、生徒会執行部の仕事を終えました。僕がこの1年間の生徒会活動の中で一番に残ったのは体育祭です。今年の体育祭は、コロナウイルスの影響で半日開催となったり、また応援合戦の練習なども十分な時間が取れなかったりしました。僕たち執行部は実行委員として、今までと違う体育祭でも皆の思い出に残るものにするために、何度も話し合いを重ねてきました。

僕は実行委員の他に白組の応援団長を務め、初めての団長という役割や今までとは違う体育祭にとまどうことがありました。でも、当日は100メートル走前のパフォーマンスや競技中の声援など、実行委員や応援団だけではなく、皆が体育祭を盛り上げてくれる雰囲気がありました。

このように、周りの人たちの支えや協力のおかげで、僕にとっては今年の体育祭が今までで一番楽しく良いものになり、また、執行部の1年間の活動の中でも一番の思い出になりました。

新しい執行部には、僕たちを超えるような存在になってほしいです。



(大方中学校 3年 松井 晃明)